

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況
及び
取組事業の評価等について
(平成30年度実施事業 及び 平成28年度からの評価推移)

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-1 圏域の目標

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンでは、目指すべき将来像を「輝きと活力にあふれ 島、街、里が織りなす 創造性豊かな交流圏域」とし、下記目標を掲げている。

【圏域人口の目標】

区 分		目 標	
		R2	R5
実数	総人口	57.7万人	57.0万人
	0-14歳	7.0万人	6.8万人
	15-64歳	32.1万人	31.5万人
	(うち25-39歳)	(8.1万人)	(8.0万人)
	65歳以上	18.5万人	18.7万人
構成比	総人口	100%	100%
	0-14歳	12.1%	11.9%
	15-64歳	55.7%	55.2%
	(うち25-39歳)	(14.1%)	(14.0%)
	65歳以上	32.1%	32.9%

【圏域の役割別成果指標と目標値】

圏域の役割	成果指標	目標値 R5
圏域全体の経済成長のけん引	圏域における民営事業所の従業者数（公務を除く全産業）	28万人程度
	香川県への再来訪意向割合（香川県への再来訪意向における「ぜひ来たい人」の割合）	60.0%
高次の都市機能の集積・強化	「JR高松駅」と「ことでん瓦町駅」の1日平均乗降人員数	4万人程度
	高松発着の航路便数	往復81.5便
	高松空港の利用者数	199万人
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	圏域全体の合計特殊出生率（各市町の果樹平均での参考値）	1.70程度
	圏域全体での若者世代（25-39歳）の人口	8万人程度

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-2 圏域人口の目標

平成30年10月1日時点で、圏域人口は約57万8千人である。平成30年3月に公表された国立社会保障・人口問題研究所(社人研)の最新推計値では、令和2年には、57万3千人強と、ビジョンの目標値を下回ることが予想されている一方で、若者世代(25-39歳)人口については、目標の達成が見込まれており、若者世代を呼び込む事業が一定の効果을あげていると考えられる。

区分	策定時 (H22.10)	現状値 (H30.10)	社人研推計 (R2)	目標値	
				R2	R5
総人口	594,000人	578,496人	573,812人	577,000人	570,000人
0-14歳	79,000人	72,198人	68,605人	70,000人	68,000人
15-64歳	365,000人	327,217人	324,125人	321,000人	315,000人
(25-39歳)	(111,000人)	(84,593人)	(81,289人)	(81,000人)	(80,000人)
65歳-	150,000人	179,081人	181,082人	185,000人	187,000人
〈総人口に占める 65歳以上構成比〉	〈25.2%〉	〈 31.0% 〉	〈 31.6% 〉	〈32.1%〉	〈32.9%〉

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-3 圏域の役割別成果指標と目標値

(圏域全体の経済成長のけん引)

圏域における民営事業所の従業者数は、圏域人口の推移に応じて減少しており、未就業者の就業を促す必要があると考えられる。(※1)

また、香川県への再来訪意向割合は、平成27年度から調査項目が細分化されたことから、参考値となるが、順調に増加している。

圏域の役割	成果指標	策定時	現状値	目標値 R5
圏域全体の 経済成長の けん引	圏域における民営事業所の 従業者数 (公務を除く全産業)	273,981人 (H26.7)	266,757人 (H28.7) ※1	280,000人 程度
	香川県への再来訪意向割合 (香川県への再来訪意向における 「ぜひ来たい人」の割合)	48.2%(H26)	28.9%(H30) 78.9% ※2	60.0%

※1 最新の現状値が示されていないため、昨年度と同じ評価としている。

※2 H27調査から「ぜひ来たい」の項目が「ぜひ来たい」と「来たい」に細分化されたため、これらの合計値を併記したものの。

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-3 圏域の役割別成果指標と目標値

(高次の都市機能の集積・強化)

JR高松駅及びことでん瓦町駅の1日平均乗降人員数及び高松空港の利用者数の現状値は目標を達成している一方で、高松発着の航路便数は、平成30年時点で策定時に比べ10便減少しており、圏域の海上交通の維持が課題となっている。

圏域の役割	成果指標	策定時	現状値	目標値 R5
高次の 都市機能の 集積・強化	「JR高松駅」と「ことでん瓦町駅」の1日平均乗降人員数	37,098人(H26) JR:24,648人 ことでん:12,450人	40,284人(H30) JR:25,930人 ことでん:14,354人	40,000人程度
	高松発着の航路便数	往復81.5便 (H27.3)	往復71.5便 (H30.4)	往復81.5便
	高松空港の利用者数	1,730,000人 (H26)	2,062,920人 (H30)	1,990,000人

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の目標達成状況について

1-3 圏域の役割別成果指標と目標値

(圏域全体の生活関連機能サービスの向上)

圏域全体の若者世代の人口は、減少しているものの、当初見込みより緩やかなペースで推移しており、各市町の連携事業の効果が影響していると考えられるが、今後、いかに若者世代を圏域に呼び込むかが課題である。

圏域の役割	成果指標	策定時	現状値	目標値 R5
圏域全体の生活関連機能サービスの向上	圏域全体の合計特殊出生率 (各市町の加重平均での参考値)	1.55(H22)	※	1.70程度
	圏域全体の若者世代(25-39歳)の人口	110,996人 (H22.10)	84,593人 (H30.10)	80,000人程度

※最新値 (H27) はR元年度末頃に公表予定

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の取組事業の評価等について (総括と今後の取組方針)

① 取組内容に比例した評価

■ 連携中枢都市と連携市町の役割分担が明確なもの(例:財政負担の明記など)ほど、評価は高く安定していることから、今後、双方の財政負担が軽減される見込みのある業務の共同化などを検討する必要がある。

② 県などとの事業の調整、役割分担が必要

■ 県等が管理や実施している事業と、圏域のビジョンに掲載している事業が重複するもの(瀬戸内国際芸術祭、医療圏が直接関係する事業など)について、圏域の範囲での取組としてふさわしいものか、各主体と調整、役割分担が必要となってきたのではないかと考えている。

■ 地方制度調査会等、国の動向も確認しつつ、地域活力を維持し、人口減少に対応する機能を十分に発揮できる枠組みとして、検討していく。

「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の取組事業の評価等について (総括と今後の取組方針)

③ 担当課間の緊密な情報共有と、より客観的な評価ができるよう検討が必要

- 本市と連携市町との間で、評価に温度差がある取組が一部あることから、連携市町間の事業やその評価に関する更なる情報共有が必要である。
- 現在の連携市町における評価は、主観的な評価項目であることから、より客観的な評価ができるよう検討を行う必要がある。



「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」の取組事業の評価等について (対象:平成30年度実施事業)

1 評価の目的

瀬戸・高松広域連携中枢都市圏ビジョンに基づく、事業の取組状況について、総合的な観点から検証・評価を実施することで、適切な進行管理を行う。

※ ビジョン掲載72事業のうち、次の8事業を除く64事業(65指標)について評価を実施した。

- ・再掲(重複)事業 : 4事業
- ・令和元年度以降に実施する事業 : 3事業
- ・ビジョン対象外移行予定事業等 : 1事業

2 評価の方法

取組事業ごとに設定しているKPI(成果指標)を基に、成果の達成度等について、連携中枢都市において評価を実施するとともに、連携市町においても一定の評価を行う。なお、この評価の結果については、外部の有識者で構成されるビジョン懇談会からも、意見・提案を受けるなかで、PDCAサイクルを回していく。

3 評価の基準

- (1) 連携中枢都市 KPIによる成果の達成度、妥当性、有効性、効率性から評価
- (2) 連携市町 成果の達成度、妥当性、有効性から評価

3 評価の基準

(1) 連携中枢都市

	評 価	点数	
		KPI設定 事業	KPI設定 対象外事業
成果の達成度	成果に対する達成度はどうだったか		
	評価対象年度の目標値に対する達成率	70×達成率	
妥当性評価	事業の目的・手法は圏域住民ニーズや社会情勢に照らして、妥当か		
	A 妥当である	10	10
	B 市民からの要望等が寄せられている等、改善の余地がある	7	7
	C 利用者が少ない等、大幅な見直しが必要である	4	4
	D 圏域住民ニーズに合っていない	0	0
有効性評価	圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化又は圏域全体の生活関連機能サービスの向上に貢献しているか		
	A 貢献が大きい	10	10
	B 貢献が中程度／義務的事業	7	7
	C 貢献が小さい	4	4
	D 全く貢献していない	0	0
効率性評価	費用対効果はどうだったか		
	A 向上している	10	10
	B 同程度	7	7
	C 低下している	4	4
	D 10%以上低下している	0	0
総得点		100	30

得点率 (総得点の86%以上)	A
得点率 (総得点の71%以上86%未満)	B
得点率 (総得点の56%以上71%未満)	C
得点率 (総得点の56%未満)	D

(2) 連携市町

	評 価	点数
成果の達成度	成果に対する達成度はどうだったか	
	A ビジョンの成果が達成されている等、十分成果があがっている	50
	B 成果があがっているが、更なる取組による成果向上の余地がある	35
	C 一定の成果があがっているが、課題もあり、更なる改善が必要である	28
	D 高松市が検討中、未着手である	0
— 評価できない		
妥当性評価	事業の目的・手法は圏域住民ニーズや社会情勢に照らして、妥当か	
	A 妥当である (ビジョン策定時と変わらない)	25
	B 圏域住民からの要望等が寄せられている等、改善の余地がある	18
	C 利用者が少ない等、大幅な見直しが必要である	14
	D 圏域住民ニーズに合っていない	0
有効性評価	圏域全体の経済成長のけん引、高次都市機能の集積・強化又は圏域全体の生活関連機能サービスの向上に貢献しているか	
	A 貢献が大きい (ビジョン策定時と変わらない)	25
	B 貢献が中程度／義務的事業	18
	C 貢献が小さい	14
	D 全く貢献していない	0
総得点		100

上記評価基準により得点率を算出し、左表により分類

4 評価結果一覧(H30) (1/2)

連携協約項目	No	事業(取組)名	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
圏域全体の経済成長のけん引	1	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	A	B	A	A	A	A	B	A
	2	幅広い層が集まる「場」づくり事業								
	2	中小企業経営力強化事業	B			B	C			
	3	ブランド農産物育成支援事業	A	B	B	B				B
	4	誘客促進事業観光連携協議会等の設置・運営	A	B	B	A	C	B	B	B
	5	国内誘客促進事業	A	B	C	B	B	B	B	B
	6	海外誘客促進事業	A	B	B	B	B	B	C	B
	7	国内外観光客向け情報発信事業	A	B	B	B	B	B	C	B
	8	瀬戸内国際芸術祭推進事業	A			A	A		A	
	9	新たな観光プランの企画、販売等	B	B	B	B	D	B	C	A
	10	イベント交流の促進	B	B	B	C	B	A	C	B
	11	デリバリーアーツ事業	A	B	B	C				B
	12	文化芸術鑑賞等の機会の提供 (劇団四季ミュージカル鑑賞)	A	A	C	A	A	A	A	A
	13	文化芸術鑑賞等の機会の提供 (美術館学習)	A	B	C	A	D	A	C	A
14	観光バリアフリーのためのUDマップ作成・活用事業	A	B	B	A	B	A	B	B	
高次の都市機能の集積・強化	1	医療人材の確保・育成	A					A		
	2	医療職員の交流等	A	B		B		B		B
	3	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	A	B		B	A	A		A
	4	大学等と連携した、将来の圏域を担うリーダーの育成	A	B	A	B	A	A	D	B
	5	産学官連携推進事業	A	B	A	C	B	A	D	B
圏域全体の生活関連サービスの上	1	救急医療体制の確保	A					A	A	A
	2	救急艇の活用	A			A	A		C	
	3	島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業	A			A	D			
	4	遠隔医療ネットワークを使った連携	A	B		A	C	B		B
	5	「地域包括ケア病棟」運用事業	A	B		A	C	B		B
	6	地域密着型サービス(認知症対応型共同生活介護)広域利用事業	A						D	
	7	在宅医療・介護連携推進事業	A					A	D	
	8	地域包括支援センター運営事業	B			B	B	A		C
	9	徘徊高齢者保護ネットワーク	A	B	B			A		B
	10	介護認定審査会事業	A					A	A	A
	11	自立支援協議会運営事業	A					A	A	
	12	障害支援区分等審査会業務の連携	A					A	A	A
	13	ファミリー・サポート・センター事業	A	B				B		B
	14	移動図書館巡回事業	A						A	
	15	読書推進ボランティア養成事業	B	B	C	C	C	C	C	B
	16	帰国児童等支援事業	C					C		C
	17	特別支援教育推進連携事業	A			C	B	B		B
	18	こども未来館学習体験事業	A	B		C	A	A	A	B
	19	史跡・遺跡の調査研究及び発信	B	B	A	C				
	20	高松市埋蔵文化財センターの運営	B	B	C	C	B			B

4 評価結果一覧(H30) (2/2)

連携協 約項目	No	事業(取組)名	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
圏域全 体の生 活関連 機能 サービ スの向 上	21	中学校総合体育大会等の連携	A					A	B	
	22	高松市屋島競技場の活用	B	B	C	C	C	C	C	B
	23	地域密着型トップスポーツチームの試合観戦機会等の提供	C	B	C	A	B	C	B	B
	24	グリーン・ツーリズム等農業振興事業	A			C	A	B		
	25	獣害対策事業	A					B		
	26	生涯学習推進事業	B			C	C			
	27	男女共同参画センター学習研修事業	B			C	B			B
	28	災害時相互応援協定	A	A	A	A	A	A	A	A
	29	香川県消防相互応援協定	A	A	A	A	A	A	A	A
	30	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	A					A		A
	31	消防業務の事務委託	A					A		A
	32	地域防災対策事業	A	B	A	D	B	B	B	A
	33	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	A							A
	34	し尿処理に関する業務	B					A		A
	35	環境学習等推進事業	B	B	B	B	B	B	A	B
	36	環境負荷の少ない自動車の普及促進	B	C	B	B	C	B	D	B
	37	小型家電等リサイクル推進事業	B	B	B	B	B	B	A	A
	38	不法投棄対策事業の推進	B	B	A	B	A	B	B	A
	39	コンビニ等へのIruCa導入事業	A	B		C	C	A		B
	40	地域公共交通再編事業	A	B	B			A		B
	41	橋りょう改築修繕事業	B	A	A	C	D	B	C	B
	42	道路新設改良事業	B	A		C		B		B
	43	自然体験等を通じた住民の交流の促進	B	B	B	C	B	A		B
	44	移住・交流促進事業	B	B	A	B	A	A	C	A
45	人材育成事業、合同研修等の実施	A	B	A	A	A	A	B	A	
46	地域コミュニティ人材養成事業	B	B	A	D	B	B	B	B	

	高松市	さぬき市	東かがわ市	土庄町	小豆島町	三木町	直島町	綾川町
A・B	96.9% (96.8%→)	97.6% (91.9%→)	78.8% (76.7%→)	61.7% (68.2%→)	69.0% (75.0%→)	92.3% (87.5%→)	59.5% (63.9%→)	96.1% (93.6%→)
C・D	3.1%	2.4%	21.2%	38.3%	31.0%	7.7%	40.5%	3.9%

5 評価の高い事業及び評価の低い事業

≪評価の高い事業≫

評価区分	H30年度実績	※H29年度実績	※H28年度実績
全体的に 評価が高い事業 高松市、 連携市町の 評価が ■全てA・B ■半数以上がA H28:16事業 H29:21事業 H30:18事業	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等	産学金官民一体となった懇談会の設置・運営等
	瀬戸内国際芸術祭推進事業	瀬戸内国際芸術祭推進事業	
	医療人材の確保・育成	医療人材の確保・育成	医療人材の確保・育成
	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	ICカードを利用した公共交通利用促進事業	
	救急医療体制の確保	救急医療体制の確保	救急医療体制の確保
		島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業	島しょ部(土庄町及び小豆島町)への医師派遣事業
	介護認定審査会事業	介護認定審査会事業	介護認定審査会事業
	自立支援協議会運営事業	自立支援協議会運営事業	自立支援協議会運営事業
	障害支援区分等審査会業務の連携	障害支援区分等審査会業務の連携	障害支援区分等審査会業務の連携
	移動図書館巡回事業	移動図書館巡回事業	移動図書館巡回事業
		こども未来館学習体験事業	
	中学校総合体育大会等の連携	中学校総合体育大会等の連携	中学校総合体育大会等の連携
	獣害対策事業	獣害対策事業	(H29新規取組事業)
	災害時相互応援協定	災害時相互応援協定	災害時相互応援協定
	香川県消防相互応援協定	香川県消防相互応援協定	香川県消防相互応援協定
	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定	高松空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定
	消防業務の事務委託	消防業務の事務委託	消防業務の事務委託
		地域防災対策事業	地域防災対策事業
	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	一般廃棄物の処理・処分に関する業務	一般廃棄物の処理・処分に関する業務
	し尿処理に関する業務	し尿処理に関する業務	し尿処理に関する業務
人材育成事業、合同研修等の実施	人材育成事業、合同研修等の実施		

5 評価の高い事業及び評価の低い事業

《評価の低い事業》

評価区分	H30年度実績	※H29年度実績	※H28年度実績	
全体的に 評価が低い事業 高松市、 連携市町の 評価が ■半数以上がC・D H28:16事業 H29:5事業 H30:4事業		新たな観光プランの企画、販売等	新たな観光プランの企画、販売等	
			デリバリーアーツ事業	
			医療職員の交流等	
			産学官連携推進事業	
			地域包括支援センター運営事業	
			認知症ケア会議推進事業	
			地域ケア会議推進事業	
		読書推進ボランティア養成事業	読書推進ボランティア養成事業	読書推進ボランティア養成事業
		帰国児童等支援事業		帰国児童等支援事業
				特別支援教育推進連携事業
				高松市埋蔵文化財センターの運営
		高松市屋島競技場の活用	高松市屋島競技場の活用	
		生涯学習推進事業	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業
				男女共同参画センター学習研修事業
			環境学習等推進事業	
		環境負荷の少ない自動車の普及促進	環境負荷の少ない自動車の普及促進	
			ゴミバス等へのIruCa導入事業	